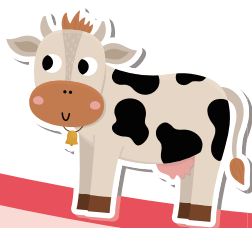


メンブトン20%注

動物用整胃腸薬

made
in
Japan



【包装：50mL×2本】

メンブトン 20%注は 消化酵素の分泌量増加で消化不良*を改善します

*胃腸カタル、第一胃食滞（牛）、単純性下痢症（豚）による消化不良 / 消化障害

【有効成分】（本品 1mL 中）

メンブトン：0.2g

【効能又は効果】

牛：胃腸カタル、第一胃食滞

豚：単純性下痢症

【用法及び用量】

1日1回、2～3日間体重 1kg あたり
メンブトンとして下記の量を筋肉内に注射する。

牛：5～10mg
(製剤として 0.025 ～ 0.05mL)

豚（10～60 日齢）：10～20mg
(製剤として 0.05 ～ 0.1mL)

【使用禁止期間】

牛：食用に供するためにと殺する前 25 日間
又は食用に供するために搾乳する前 72 時間

豚（生後 2 月を超えるものを除く。）：
食用に供するためにと殺する前 6 日間

本剤は、生後 10 日齢以下の子豚及び 60 日齢を
越える豚には使用しないこと。

添付文書はこちら▶



投薬早見表

〔牛〕

体重	投与量
50kg	2.5mL
100kg	5.0mL
600kg	30mL

〔豚〕

体重	投与量
10kg	1.0mL
30kg	3.0mL
60kg	5.0mL

【メンブトンの薬理作用】

メンブトンは消化管の分泌機能を刺激し、胆汁、膵液、消化性分泌液の分泌量を2倍から5倍に増加させます。さらに、メンブトンは消化酵素活性を高めるため、消化不良、下痢、食欲不振、胃腸炎の症状を改善します。

(Ackerman, L. 2007. Veterinary Practice Management, Black Well Publications, New Jersey, USA.)

製造販売業者



リケンベッツファーマ株式会社
埼玉県入間郡越生町成瀬829-6

【製品情報お問い合わせ先】

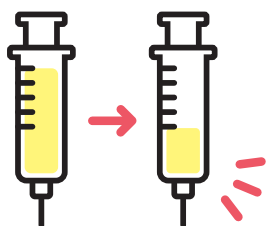
リケンベッツファーマ株式会社
〒123-0851 東京都足立区梅田 1-29-12
TEL：03-5888-6044

メンブトン20%注が 選ばれる理由



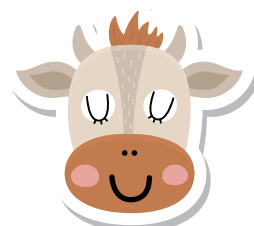
1 濃縮タイプで投与量“減”

20%濃度の製剤にすることで従来品と比較して投与量が半減し、投与時の動物や獣医師の負担を軽減します。



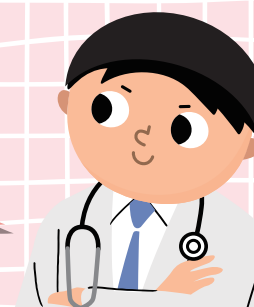
2 無痛化剤配合

アニマルウェルフェアに配慮して、無痛化剤を配合しました。注射時の痛みを抑える処方設計をしています。



92%の獣医師が「使いやすい」と回答しています。

(社内資料：獣医師向けアンケート)



「第一胃食滞」でのメンブトン製剤使用報告

【治療方法】

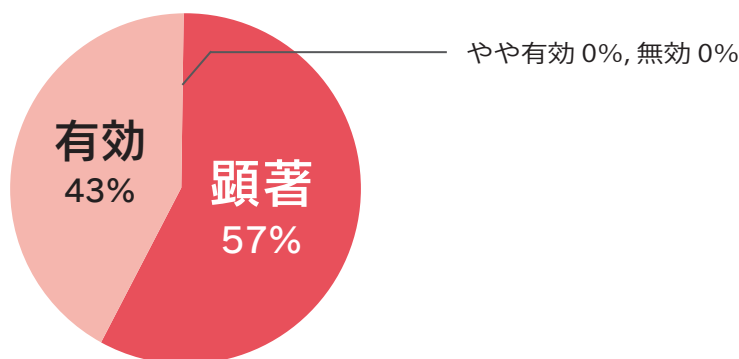
第一胃食滞と診断された牛7頭（1齢～7齢、計7頭）にメンブトン4g（製品として20mL）を1日1回（最大3日間）、深部筋肉内投与した。

【効果判定】

下記症状の軽減、回復を総合的に判断した。

[反芻・嘔気反射・食欲・第一胃運動・腹部打診・活力]

【結果】



最大3回の投与で第一胃食滞の改善が見られた。